

2023年9月5日

株式会社三菱UFJ銀行

## VLP Therapeutics, Inc.および VLP Therapeutics Japan 株式会社への出資について

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一<sup>はんざわ じゅんいち</sup>、以下 当行）は、今般、がん、マラリア、デング熱などのワクチンを研究開発する米国のバイオテクノロジー企業 VLP Therapeutics, Inc.（CEO 赤畑 渉<sup>あかはた わたる</sup>、以下 VLPT 社）および VLPT 社の日本法人 VLP Therapeutics Japan 株式会社（代表取締役 赤畑 渉<sup>あかはた わたる</sup>、以下 VLPT ジャパン社）と出資契約を締結いたしました。

VLPT 社は、世界の「満たされていないメディカル・ニーズ」に応え、従来のワクチン療法を一変する革新的な治療法の開発を目的として、2013年に設立されました。2020年6月には VLPT ジャパン社を日本に設立し、VLP<sup>[1]</sup>技術やレプリコン（次世代 mRNA）<sup>[2]</sup>技術などの基盤技術を元にワクチン開発に取り組んでおります。

当行では、経済性と環境・社会へのインパクトを両立させた投資を行うべく、投資判断に環境・社会的インパクトを加味するサステナブルビジネス投資戦略<sup>[3]</sup>を2020年8月に創設しました。また、2021年3月には本邦の民間金融機関として初めて「インパクト投資の運用原則」に署名<sup>[4]</sup>し、環境分野でのインパクト投資を行うファンド<sup>[5]</sup>などへ出資してまいりました。社会分野でのインパクト投資については、2021年12月に VLPT 社へ出資し、ワクチンの実用化によって生じる社会的インパクト<sup>[6]</sup>の可視化や管理を支援してまいりました。

当行は、今般の VLPT 社への追加出資および VLPT ジャパン社への出資を通じて、感染症の予防やがん治療を目的としたワクチンの実用化を後押しするとともに、VLPT ジャパン社へ派遣済みの行員2名などによる財務管理体制の強化をより一層支援してまいります。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループでは、持続可能な環境・社会の実現に向けて、「健康への脅威の克服」<sup>[7]</sup>など、優先的に取り組む10の課題を特定しております。当行は、引き続きインパクト投資などを通じた社会的インパクトの創出を図るとともに、中長期的な環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

### < VLP Therapeutics, Inc.の概要 >

名称	VLP Therapeutics, Inc.
所在地	米国メリーランド州ゲイサーズバーグ
設立	2013年1月
代表者	CEO 赤畑 渉
事業内容	マラリア、デング熱など感染症予防ワクチンおよびがん治療ワクチンの研究開発

<VLP Therapeutics Japan 株式会社の概要>

名称	VLP Therapeutics Japan 株式会社
所在地	東京都港区
設立	2020年6月
代表者	代表取締役 赤畑 渉
事業内容	COVID-19、インフルエンザなど感染症予防ワクチンの研究開発

- [1] Virus-Like Particles（ウイルス様粒子）の略。感染性のある遺伝物質を含まないウイルス粒子で、ワクチンとして使用すると、ウイルスに由来する副反応を引き起こすことなく強い免疫反応を誘発できます。
- [2] レプリコン（次世代 mRNA）ワクチンは、少量の接種で十分な抗体を作ることが可能な自己増殖型の mRNA ワクチンです。現行の mRNA ワクチンと比べて 10～100 分の 1 程度の接種量となることから、短期間で日本全人口分のワクチンの製造が可能となり、また、副反応の低減も期待されています。
- [3] サステナブルビジネス投資戦略については、以下のリンクをご参照ください。  
<https://www.bk.mufg.jp/houjin/info/pdf/20200805.pdf>
- [4] 「インパクト投資の運用原則」への署名については、以下をご参照ください。  
[https://www.bk.mufg.jp/news/news2021/pdf/news0315\\_1.pdf](https://www.bk.mufg.jp/news/news2021/pdf/news0315_1.pdf)
- [5] 環境分野でのインパクト投資については、以下をご参照ください。  
<https://www.bk.mufg.jp/news/news2021/pdf/news0708.pdf>
- [6] VLPT 社のワクチン開発により生じる社会的インパクトは、罹患率・発症率の低下、生活の質の向上、後遺症の予後の改善の他、感染症対策の推進による公衆衛生の確保や経済活動の維持などを想定しております。
- [7] MUFG の「健康への脅威の克服」に係る取り組みについては、以下のリンクをご参照下さい。  
<https://www.mufg.jp/csr/materiality/10/index.html>

以 上